

日 新 東 京 刊	NO.4243	2007年3月1日(木)
	日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
	03-5690-2847	内線 4163

日本郵政株式会社に

「交渉促進等に関する申し入れ書」

本部は、先の中央委員会での意見等に基づき日本郵政株式会社に対し、新会社の労使の交渉課題について、具体案を早急に提案するなど交渉の促進をはかるよう改めて申し入れを行った。

1、交渉促進について

日本郵政、郵便事業、郵便局、郵貯銀行及びかんぽ生命各社における人事制度、労働条件等の勤務条件や労使関係など労使の交渉課題について、「労働力管理手法と労働力ポートフォリオ」を含めた詳細な具体案を早急に提案するなど交渉の促進を図りたい。

2、フロントラインにおける労働力不足について

(1) 民営・分社化時の労働力不足

7月末に提出された「実施計画の骨格」における各社の予定人員数と今回苦情処理の段階にある帰属決定スキームにおける各社承継予定職員数との間には相当の乖離があるものと承知しているが、この乖離、すなわち労働力不足について、どのように対処するのか見解を明らかにされたい。

(2) 民営・分社化までの労働力不足

公社期間中の労働力不足について、日本郵政として出来る最大限のバックアップを図りたい。

3、07新賃金・一時金交渉について

(1) 新賃金

平成19年4月1日時点における定期昇給やベース・アップなど新賃金については、公社と妥結内容に基づき民営各社がその労働条件を遵守することを基本と考えるが、日本郵政の見解を明らかにされたい。

(2) 一時金

一時金については、公社との妥結内容に基づき、公社期間中の夏期手当で支給済みの部分を除いて、民営各社が年末手当の支給月数を担保することが基本と考えるが、日本郵政の見解を明らかにされたい。

第四一回

支部委員会 報告

「職場の見直し 私たち自身が立案を」

少し遅くなりましたが、二月十日に開催された支部委員会の報告をします。

改憲・戦争のできる国へ突進 平和に対する取り組み強く求める

一 小

◎高齢者再任用・継続雇用求む

◎業務縮小・廃止で整理 3月0日 前予告どうなのか

◎懲戒処分増えるのか 訓戒・注意 給与にひびくのか?

一 輪

◎四月一日で一〇〇人退職 四月一日以降不安は身近に 先が見えない 組合員は不安である

◎絶対に解雇しないように組合員の身を守るように

◎組合統合 強い組織を作る

◎ワークライフバランス 割り増し手当 現実的に要求実現を

◎出向 個別同意不要ではため対象はどうなるのか 疑問点を詳しく聞かせて

◎本務者は公務員試験で入った ゆうメイトの賃金雇用を守るのは必要 職員のことももっと考えて

◎ゆうメイトに頼り切っている 社員区分六つになる 二〇三にしたい 現在でもABCと差別みたいだ 雇用形態が多すぎも少しわかりやすくして

◎若い人を職場に入れないと組織が活性化しない 離職率の高さ

◎社宅定年制 安心して働けるために定年(六〇)までにして

◎2ネットや普通局統合 屋外設置 ATM七三八台撤去 簡易局四四〇〇局のうち二九九局閉鎖 二〇〇局閉鎖予定 ユニバーサル守れるのか不安

◎ゆうメイトの中でも格差ある

◎パート労働法 深夜勤七時間五日で週三五時間

◎健康問題で契約更新できない 健康診断を利用して契約切る

し手当 現実的に要求実現を

窓 口

◎出向 個別同意不要ではため対象はどうなるのか 疑問点を詳しく聞かせて

◎本務者は公務員試験で入った ゆうメイトの賃金雇用を守るのは必要 職員のことももっと考えて

一 普

◎ゆうメイトに頼り切っている 社員区分六つになる 二〇三にしたい 現在でもABCと差別みたいだ 雇用形態が多すぎも少しわかりやすくして

◎若い人を職場に入れないと組織が活性化しない 離職率の高さ

◎社宅定年制 安心して働けるために定年(六〇)までにして

二 普

◎2ネットや普通局統合 屋外設置 ATM七三八台撤去 簡易局四四〇〇局のうち二九九局閉鎖 二〇〇局閉鎖予定 ユニバーサル守れるのか不安

◎ゆうメイトの中でも格差ある

◎パート労働法 深夜勤七時間五日で週三五時間

◎健康問題で契約更新できない 健康診断を利用して契約切る

答 弁

◇社員区分は二ーズにあったもの
◇再任用は本人も含めて納得できるものにしていきたい

◇ゆうメイト労働条件 非常勤と一緒に闘っていく 共に賃金アップを求めていく 価値観の違いで職員になりたくない人もいる…単価の問題にもなっていく

◇契約解除は局側の都合だと思ふ 整理が必要

◇働く側が魅力を感じているのか : やめてしまう ベテランを年賀に入れたが管理者全然見ていない

◇平和の問題 支部見解出した 硫黄島の話は初めて聞いた 地本委員会へ意見反映していきたい

◇中央委員会の課題は人事制度の細部を決めていくもの ユニバーサルを守ると全国大会決めた JPUのスタンスは不変 パブリック企業としてやっていく

二 特

◎深夜交替制手当改善の検討を 深夜勤導入二年経った 祝日深夜勤開始日二時間しか手当ない 祝日手当見直しして

◎深夜勤四回プレミア手当 有給休暇で手当消滅

二 特

◎民営化・七〇〇〇名勧奨退職者不安ある 労働条件現行より良くなるよう求めて

◎非常勤の処遇改善 ゆうメイト結婚しても子供を産めない 賃金低く労働条件悪い 社員化への道筋を

◎硫黄島の映画を職場の人達と見た 三万人近く命を落としていく 悲惨 ブッシュ政権はイラク戦争

◎防衛庁の「省」への昇格

◎経団連会長御手洗氏 労働法改正・自由に切ったり安く使ったり
一特

◎新規採用たくさん欲しいが0
社会情勢からみても採用すべき

◎キャリアアスタフ何人いるのもめることをあまりつくってほしくない 苦情相当出ているが苦情と局は認めない 対話できない
これでいいのか

◎フロントラインの整備 スピードアップ機能しているのか ちゃんと検証してくれ

◎福利厚生維持を お湯出ない・食堂の問題 拡充を求める 厚生施設悪くなっている

二特

◎重大コンプライアンス違反 年末に局役職者によるセクハラ事件が発生 課・当局の対応は全然なっていない 被害者を守らない
退職させようとした コンプラ徹底全然なっていない 当局に厳しい申し入れを!

◎持ち株制度 どういいのか

◎ポーナスの+ (プラスマイナス) 手当が煩雑 細分化表示して
◎長期病気休暇 明細書で減額わからない

◎深夜勤の時短を 三年経った組合活動が狭められている 仮眠室の開放も求める

◎深夜勤各週に二回を 組合活動もう少し柔軟にできるのでは

三小

◎統合しかたがない 全郵政はJPUに総括もとめている 全郵政だっているいろしてきた 不当労働行為はダメ

◎五〇億闘争資金どうなる

二輪

◎退職者多い 四月一日以降仕事は回らない 不安

三特

◎新春レク良かった

◎深夜勤なんかならないか 個人的に週二回でできないのか

二普

◎雇用保険はいる 減収対策を

一普

◎労災認定 時間がかかりすぎ
きちんと報告しているのか
◎専従上限はあった方がいい

二特

◎JPS 床テーブル小物入とても役に立っている 進度管理板・原単位の改善を 職場に合わない
説明なく配達記録開披台撤去と

でも混乱している ダメなものは一定期間が過ぎたらやめる 一二月からJPSで書留不結束発生
◎アウトソーシング きちんと反対して

◎出向転籍本人同意必要 民間ではアウトソーシング子会社に出向

答弁

◇組織統合は互譲の精神で
◇闘争資金は全国大会で論議する
◇祝日手当は実勤に対して出していくもの 小解放は空白日で非番でない 深夜勤は上部に意見反映していく

◇明細書について意見反映していきたい

◇労災 時間がかかる 休業補償を二年経ってから言ってきた 民営化により労災認定が厳しくなる

◇深夜勤連続前後で暦日七日あける 非常にややこしい 局全体で統一しなければならぬ

◇ストックオプション調べる 良いか悪いかわからない

◇JPS 職場の問題として問題点をとらえて なんでもやるというものではない これはおかしいというスタンスを持って 職場のことお客さんのことを考えてやら

なくてはいけない 問題あれば窓口でやっていく
一小
◎退職金 週四〇時間はたらいっているゆうメイトは対象か

◎ゆうメイト 常態的残業8時間以上となっている 退職金対象か

一輪

◎従業員持株会を作る 他の会社の株も買える
◇組織統合についてJPU大人だから追及しない

◇四月一日以降の仕事回し 現在職場の見直しをしている 私たち自身が立案していくことが求められている メモ書きで良いので上げて欲しい

◇出向・転籍 郵政グループ内の人事交流をサポートする制度 年一回人事報告書 なんかイメージ悪いけど ちがう 団体協約事項としていく 本意にとばすという制度ではない

◇ゆうメイトの退職金は現在出ている 上部に確認する

以上

日
刊

新東京

NO. 4249

2007年3月9日(金)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

03-5690-2847

内線 4163

『銀座郵便局からの組合員のみなさん』歓迎

この度、3月5日付けで銀座郵便局より移動でこられた組合員のみなさん、新東京郵便局へようこそ。

第一輸送課へ2名、第二普通郵便課へ2名、ゆうメイト組合員2名、計6名の組合員の方が新東京へこられました。

5日の赴任初日に職員の方だけですが、一輸・二普で小さな歓迎会行おうと話し合い、某居酒屋で『まず一杯』と飲み始めましたが、話も弾み2時間程度では終わらず、二次会まで行ったそうです。

これから民営化に向けて、いろいろ大変な時期ではありますが、共に頑張っていきましょう。

二普分会 歓送迎会

日時 : 2007年3月11日(日)

開演 : 18時30分

場所 : 東陽町ビスタホテル
(東西線①・②番出口より徒歩1分)

日 新東京 刊	NO, 4250	2007年3月12日(月)
	日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
	03-5690-2847	内線 4163

第17回JPU新東京支部

ゴルフ大会参加者募集中

4月9日(月) プレジデントカントリー倶楽部

支部結成以来、毎年の恒例イベントとなっている『第17回支部ゴルフ大会』の開催についてお知らせします。今大会会場は、自然の地形を巧みに生かし、美しい景観と豊かな戦略性を兼ね備えたジャック・ニコラウスがコースを設計した『プレジデントカントリー倶楽部』に決定しました。3年前の第14回大会でも好評だったコースです。バンカーと池が巧みに配され、正確なショットが要求される美しくも厳しいコースです。

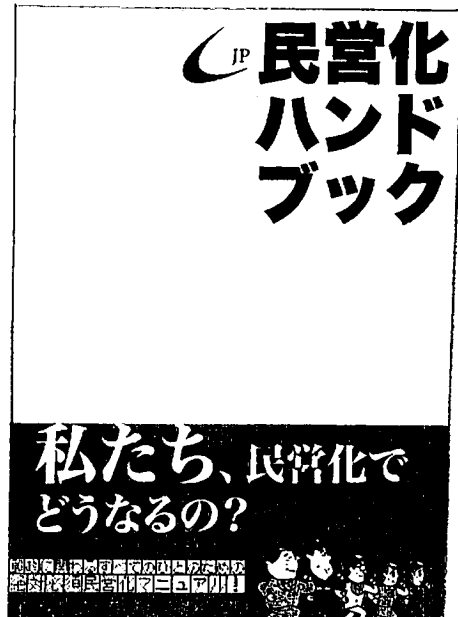
新東京のゴルフ愛好者の皆さん！ 春光うらかな青空の下で皆で元気一杯楽しみましょう。計画年休等を入れて、万障繰り合わせていただき、早めの参加申込みを心よりお待ち申し上げます。

◇日 時	<u>2007年4月9日(月)</u>
◇会 場	<u>プレジデントカントリー倶楽部</u> 栃木県栃木市千塚町561番地 ☎0282(31)3111 *東北自動車道利用の場合 浦和IC⇒約45分(70km)⇒栃木ICから約5分
◇集合時間	<u>7時15分～7時45分の間に、受付して下さい。</u>
◇競技方法	<u>1ラウンドのストロークプレー。ハンディーは新ベリア方式。(ダブルカット最高36)。</u> 競技コースは、東コースのOUT・INのたすきがけ。
◇プレー代(参加費込み)	<u>13,500円(税別)</u> (GF・CF・乗用カート・昼食・ワンドリンク・パーティー代等)
◇募集人数	<u>40名程度</u>
◇参加申込み締め切り日	<u>3月30日(金) 定員になり次第締め切り。</u>

民営化ハンドブック読みましたか？

JPUでは、組合員とその家族の元気づくりを目的とした「スタートアップ2007」のとりくみを進めています。

このハンドブックは、民営化後のイメージを具体的に描きながら、元気づくりに寄与するために発行されたものです。「私たち、民営化でどうなるの？」をテーマにして、事業、仕事、働き方、雇用と労働条件などに関して、Q&A形式で分かりやすくまとめられています。また、今日段階においても、まだまだ不確定・不明確な事柄が多いのも実情ですが、この間の労使交渉で明らかになってきた事柄が体系的に整理されており、不安感の払拭に役立つ内容となっています。全組合員対象に配布中です。



第17回JPU新東京支部ゴルフ大会参加申込み用紙

申込み月日： 月 日

分会名	分会	分会名	分会
氏名		氏名	
生年月日	19 年 月 日	生年月日	19 年 月 日
グロス		グロス	
交通手段	車 ・ 電車	交通手段	車 ・ 電車

- * ペアでの申込みを基本としますが、単独の申込についてもOKです。組み合わせは、2名を1セットとし、異なる分会とのセットで4人1組でプレーすることを原則とします。単独の申込者については、組み合わせは、一任して下さい。
- * 組み合わせの参考にしますので、グロスを必ず記入して下さい。
- * 申込み締切日⇒3月30日(金) ただし、申込者が40名になり次第締切。

日 刊

新東京

NO 4254

2007年
3月16日(金)

JPU新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

「JPU時報」85号で薦めるBOOK

『ブラツカムの爆撃機』

ロバート・ウェストール著 宮崎 駿編集 岩波書店

第二次大戦下、ナチス・ドイツとの死闘を続けるイギリス空軍。「ウイムピー」の愛称で呼ばれる「ウエリントン爆撃機」は大編隊を組みドイツへ無差別夜間爆撃を行う。迎え撃つドイツ

軍の対空砲火と戦闘機、その爆撃機に搭乗する一人のベテラン機長と若い新米飛行兵たちが遭遇するさまざまな出来事が描かれる。

ある時無傷で帰還した嫌われ者のブラツカムの爆撃機は、その機に乗っていたはずの搭乗員は行方不明だった。その爆撃機に搭乗するものは次々と恐ろしい事象に遭遇する。呪われた爆撃機。戦争の現実には反吐を吐くような醜さとカツコ悪さ、そして待ち受ける理不尽な死と若い故のどうにもならない現実への怒り。

戦争の狂気の中で自らの精神を保つ困難性がリアルに描かれる。

この作品に惚れた宮崎駿

が「自称兵器オタク」の面目躍如のビジュアル解説で作品を挟んだ異色の児童書と言える。

・
・
・
・
・

この作品の面白い点は、読者がいかにもその爆撃機に同乗している雰囲気させられる。宮崎駿の絵がその感覚を倍加させる。

読んでいてサスペンスものやミステリーとは違う臨場感や緊張感を感じさせるのは「戦争の非日常性」なのかもしれない。ウエストの作品に見られる戦争の中での少年たちのまつす

ぐな眼差しを強く感じる。

・
・
・
・
・

子供に読ませるのも、大人が読むにもおすすめの一冊だ。

ちなみにこのウェリントン爆撃機は戦争中、一万機以上生産されたが、すでに旧式で損耗率が非常に高かった。大戦中の英国の爆撃機クルーのうち、五五〇〇人以上の搭乗員が帰らぬ人となった。

第17回 JPU新東京支部 ゴルフ大会参加者募集中!

☆ 日にち: 2007年4月9日(月)

☆ 場所: フレジデントカントリー倶楽部

☆ 締め切り: 3月30日(金)まで

叫び続けたい 戦争反対の声

先日、職場の仲間と沖繩を訪れ、「ひめゆり平和祈念資料館」に行きました。何度訪れても胸に迫ってくるのは、展示室の壁一面にはられた、子どもたちの遺影ともいえる写真です。

幼くして命を落とした子どもたちの無念さが痛いほど伝わってきます。私自身、一児の父となりました。

今、自分の大事な子どもたちの命を奪われた、親の気持ちも察するにあまりありません。

戦争で犠牲になるのはいつも最も弱い立場にいる者であることを再認識し、「この悲惨な戦争を二度と繰り返さない」と不戦の誓いを新たにしました。

だが、現実にも目を向けると、教育基本法には愛国心を上から押し込めるように盛り込まれ、防衛庁は省に格上げされました。そして、次に国民投票法の成立と憲法九条の改正が狙われるなど、「戦後レジーム(体制)からの脱却」の名の下に「戦前回帰」が画策されている、としか私には思えません。

私は「戦争反対」の声を上げ続けていきたいと思えます。次にひめゆりを訪れる時にも、胸を張って子どもたちの写真と向き合えるためにも。合掌。

日 刊	新 東 京	NO 4256	2007年3月20日(火)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

民営・分社化における人事制度と労働条件 に関する地方意見について

JPU中央本部
政策部長殿

2007年3月8日
JPU東京地方本部

「民営・分社化時の人事制度と労働条件等」に関する、地方意見を以下のとおり提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

1、人事関係

(1) 社員区分、非正規社員

非正規社員の社員区分の切り分けについて、現在、長期ゆうメイトには様々な雇用形態があり、特に区分局における雇用契約は新夜勤(11H及び12H)10H深夜勤者の扱いについて中央交渉において明確にしていきたい。仮に新夜勤者は週3回の勤務が大半となっているが、週3.5Hが区切りとすれば、1.1H勤務者はパートタイマーとなり、1.2H勤務者は契約社員となる。契約社員とパートタイマーでは賞与加算の措置など、処遇上で違いが生じると考えるので交渉強化を願います。

(2) 採用

採用については、より柔軟に採用できる制度と年齢制限の緩和、キャリアスタッフから正規社員への登用に関しても年齢制限のあり方は柔軟なものとする事。

(3) 出向・転籍

協約化される出向制度に関する制度について、本人の同意を必要とする制度として協約化されたい。出向者に対する期間の設定と処遇上の配慮、また、人事異動と出向・転籍が円滑に実施できることと、労働組合が関与できる制度とされたい。

(4) 解雇

解雇等の扱いについて、しっかりした協約化を実施し、組合員に対する不安解消を図られたい。

(5) 高齢再任用制度

高齢再任用制度に関し年金受給年齢の繰り下げによる制度創設であることを踏まえ、基本的に受験者全員が任用できる制度に改善を図ること。

(6) 退職

退職制度に関し、現行のとおり、年度末に退職する制度とすること。

(7) 勤務管理・兼業

会社施設間の政治活動制限や兼業を制限する規定については必要ないものとする。

2、労働条件関係

(1) 勤務時間

基本的に現行適用となっている休憩・休息についてはその制度を維持し、契約社員やキャリアスタッフなどについても適用拡大すること。

(2) 休暇

基本的に現行の制度を継承し、有給・無休休暇の適用拡大を図ること。特に契約社員等には年休の時間単位取得をすすめること。パートタイマー及び契約社員への病気休暇の制度や看護休暇の創設を図る必要があります。また、リフレッシュ休暇の新設や組合休暇、特別休暇の適用拡大も実施すること。

(3) 労働保険

労働保険の負担割合を明らかにし、被保険者負担がなるべく少なくなる制度とすること。

(4) その他

育児制度において、優秀な人材確保の観点から民間が実施している小学生低学年までの育児短時間制度の創設を求めるものです。

契約社員には年末特別勤務手当、年末繁忙手当、1月2日及び1月3日祝日割り増しが支給対象となるよう求めます。また、育児・看護休業制度は職員の評価のため、その後の処遇に大きな影響を与えることから取得率向上につながっていない点について改善の交渉を強化願います。

現在の休職制度と要軽業勤務の維持と、8割勤務者の条件維持と休職者から復職に対する緩和を図っていくことが必要と思われる。

3、労働組合関係

(1) 三六・二四協定

民営・分社化後に締結する考え方となっているが、近年の再締結事例の状況や締結範囲について十分精査し、年間締結のあり方について一定の見直しも検討されるべきと考えます。(前期・後期など)

(2) 団体交渉

団体交渉の範囲について、民営化に伴い、ごく限られた事項以外団体交渉事項とすること。効率化ルールについては現行制度を維持すること。

(3) その他

組合事務室の貸与に関し、組織人員を考慮したスペースを確保すること。

4、福利厚生・安全衛生

(1) 社宅

年度途中での社宅廃止事例は組合員の生活設計に重大な影響を与えることからそのような事例を根絶するよう求めます。社宅定年制の実施とリンクして住宅手当の支給拡大が図られたが、真に持ち家制度の拡大につながるよう、増額を図ること。また、キャリアスタッフ及び短時間職員に対する入居の拡大を図ること。契約社員の確保の観点からも、新聞奨学制度などのような2年から4年間程度のスパンでパート及び契約社員に社宅と大学・専門学校への進学と郵便局での仕事を兼ね合わせて、卒業時に本人の適性と希望による社員への登用の制度を確立し、都市部における労働力確保の道筋を作ることが必要。

(2) 医療

健康管理室のあり方について、職員の使用状況など、これまで果たしてきた役割を十分認識し、現在設置されている局に対する存続と予算措置を強く求めます。部内医療について、職員については紹介状なしで通院できるよう、使用率の向上の観点から柔軟な扱いとすること。

(3) 持ち株制度

従業員持ち株制度に関し、制度導入に際しては対象職員に対し十分な資料等を示し検討をした上で実施するよう、慎重な対応を保証すること。

以上

猫の読書

8冊目

「闘魂 硫黄島」

小笠原兵団参謀の回想

堀江 芳孝

光人社NF文庫 686円+消費税

昨年末から2ヶ月程、クリント・イーストウッド監督の「硫黄島二部作」で硫黄島ウイルスに感染し、重体に陥っていた【猫舌】です。硫黄島戦については概略を知る程度だったので、硫黄島の文献を一冊は読みたいと思い、「硫黄島二部作」公開時、近所の本屋の特設コーナーで探したところ、アメリカ側の文献などに混ざって何故か一冊だけ、この本が置かれていたのです。一昔前、血迷って購入した『玉砕戦全史』の硫黄島の項の日本側参考文献がこの本でしたので、数日考えた挙句、尊敬するスタジオジブリ宮崎駿監督の「戦記は勝者より敗者のものの方が読んで納得がいく」の教唆に従い、手に入れた次第です。

著者は、硫黄島攻略戦時、小笠原兵団参謀の一人でした（陸軍少佐）。敗戦二十年目に書かれたこの本（現在販売しているのは、正式には出版社を変えた再刊本）は、日本軍人によく見られる神がかり的精神論はなく、著者が海軍海上護衛総本部に出向してから、小笠原兵団参謀に赴任し、米軍が侵攻してくるまでの経緯が丁寧に書かれています。著者自身は硫黄島防衛戦に参戦していないので、実際の戦闘の記述は少ないですが、生存者の証言やアメリカ側の資料などで補っている、良質な回想本です。戦死した栗林中将や市丸海軍少将などの、家族宛の手紙も収録されています。

難を挙げるなら、米軍軍人のカナ名を発音に忠実に表記したのか、一般の戦記で表記されているものと微妙に違います（スプルーアンスがスプランス、ミッチャーがミッチェルなど）。あと、本のタイトルは、内容が堀江氏自身の経歴が主なので、サブタイトルの方が好いと思いました。

日 刊	新東京	No. 4259	2007年3月26日(月)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

公衆電話撤去に異議あり!

先日、局内の公衆電話を4月より撤去するとの周知がありました。世間一般でも、携帯電話の普及に伴い、公衆電話の利用者が激減して撤去する事例が相次いでいますが、遂に我が局の公衆電話も撤去の憂き目に遭います。が、良いのでしょうか？

公衆電話は地震などの自然災害発生時に力を発揮する大事な設備です。大規模の自然災害が発生し、ライフライン（電力）が断ち切られたとき、または一般電話の回線や携帯電話の電波がパンクし、警察・消防への緊急連絡や家族の安否確認をする時などに、公衆電話は最後の連絡手段として重要な役割を担っています。なのに、普段一千人からの大人数の職員・ゆうメイトが働く局の公衆電話を無くしてしまえば、災害発生時の最後の命綱を絶つことに等しいのではないのでしょうか。

経費削減も結構ですが、いざという時の災害対策を無視した経費削減は困りモノです。再考の余地はないのでしょうか。(ちなみに投稿です)

今、局では個人情報保護のため、携帯電話の持ち込みを禁止されているけど、公衆電話が撤去されたら持ち込みOKになるのかな？

それとも局の電話で私用電話をいっぱいかけてもOKってことかな～？



日 刊

新東京

NO 4260

2007年
3月7日(11)

JPU新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

「JPU時報」85号で薦めるBOOK

『安心のファシズム』

斎藤貴男著 岩波新書

「自由を放てきし、隷従を求め」ことはやさしい。

不安と恐怖が徐々に、せり上がってくるような日常では強大な権力と強い指導者に民衆が強い安心感を持つのは成り行きなのだろうか。

「ファシズムはそよ風とともにやってくる」。

そういえば第二次大戦前から言われている言葉に「ファシズムはいつも紳士然とした風紀屋」というのがある。別にファシズムを全体主義や原

理主義に代えても同じだが。

民主主義がしんどく疲れるのは、何故か？

個の確立が大前提だし、自らの意見を持ち、主張し、相手の意見を尊重する覚悟が必要だからだ。

本書はイラク人質事件で起きた「自己責任論」の太合唱と銃後の思想を問い、現代の携帯電話の生理的器官化や、監視カメラの心理学を説明しつつ、これからの思想統制の動きに警鐘を鳴らす。

大衆がよってたかつて、権力を持たない政治的発言をつぶしていく社会はどこかで見たような錯誤を覚える。

人材派遣事業は、なぜ「おいしい」業種なのか？ 〜ピンはねする手配師と何処が違う？〜

「ピンはね(びん撥ね)」を広辞苑で調べると、「他人の利益のうわまえを先に取ること」とある。

昔、日銭が欲しくて、寄せ場に行き、手配師の口利きで何回か工事現場の仕事をしたことがある。

時代は変わり、自分を登録しておけば暇な時に仕事ができる手軽さを謳い文句に人材派遣会社が急成長し、新規参入が絶えない業種となっている。

個人的には、どう考えても人材

なぜ

派遣会社は派遣労働者をダシにうわまえを懐に入れている手配師との違いが判らない。単に国の認可を受けているか否かの違いでしかないだろうと思う。

人材派遣事業は、小泉・安部政権の下、特に一九九九年の人材派遣に関する規制緩和以来、非正規労働者の拡大を再生産し、正規社員とのいわゆる「格差社会」は拡大する一方だ。その元凶は、確かに人材派遣会社だけでなく、規制



緩和を野放しにする政府の責任がいちばんだが、経済のグローバル化の下、企業にとって最も安易な人件費を削るために、派遣会社へ派遣労働力を要請する企業・資本の責任も非常に大きい。

派遣事業の「うまみ」は、労働者を集め派遣先に送り込む非常に安易で、しかも設備投資等コストがかからないこと、しかも、派遣先の企業も、人材の適時確保ができ、正規社員を採用するより大幅にコスト削減でき、税法上も消費税等安く済ませられるという願っ

(ウラへ統く)

送別会・歓迎会・花見等宴会真つ盛り

宴会最後は、幹事への感謝も忘れずに！

年度末は送別会。年度が明ければ、今度は歓迎会と花見のシーズンに。

職場では今、多くの職員が退職され、毎日のように大なり小なり規模は違えど、送別会が真つ盛り。

送別会だけでなく様々な催し。宴会は、幹事がいないと成立しない。宴会では幹事は、参加者の注文や意見も受けながら、司会進行、店とのやりとり、二次会の段取り等、酒や肴の飲食は二の次で事務方に徹さなければならぬ。時には、参加者から厳しい注文を受け困惑する時もある。



宴会のマナーを偉ぶって云うつもりはないが、やっぱり、宴会では主賓を盛りたてて締めた後は、幹事への感謝の言葉を忘れないように。

（オモテヨシ）
たりかなったりの制度なのだ。
そして、何よりも扱う労働力商品が自分で再生産可能にし「剰余価値」を生み出す存在だということだ。

人材派遣会社の業種そのものを否定するつもりはない。ただ、人材派遣事業が規制緩和するまで、強い法的しほりがあったのは、人格有する人材を派遣する際のモノとは違う丁寧な扱い処遇が必要だという論理があったからだ。

派遣会社が「手配師」と呼ばれたくないなら、派遣先との派遣契約でどれだけ収入を得て、派遣労働者にいくら払い、どれだけ「ピンはね」しているか情報公開することだ。「手配師」との違いはそれしかない。そうすれば、いかに派遣事業が「おいしい」仕事なのかより一層明確になる。

日 刊

新東京

NO. 4263

2007年
3月30日(金)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

退職される組合員のみなさんへ

「長い間の御協力に 感謝申し上げます」

本日付で退職される組合員のみなさん、長い間本当に御苦労様でした。再任用を終えられる方や勸奨退職、また、再任用職員として人生第二のスタートの春となりました。

さらされてきました。時あたかも団塊世代の退職問題、2007年問題など多くのマスコミで特集などが組まれました。

郵便局においても、同様にあり、今後の要員不足の大きな要因となり、事業基盤を揺るがす問題になっています。

人生の大半を郵便局とともに歩み、様々な経験のなかで培ったものを後輩に引き継ぐよう努力をされたことと思います。

本年10月にスタートする郵便事業会社のなかでも、その遺伝子は生き続けると思えます。ともあれ、本日を迎えるにあたり、執行委員会を代表して、この間の御協力に感謝を申し上げます。

また今後のご健康とご多幸を念じつつ感謝の言葉とさせていただきます。

二〇〇七年三月三〇日

JPU新東京支部

支部長 下山 薫